

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信 託 期 間	無期限（設定日：2021年6月29日）	
運 用 方 針	SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組 入 制 限	当ファンド（ベビーファンド）	投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
	マザーファンド	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分 配 方 針	年1回（毎年7月11日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第5期

（決算日：2026年7月13日）

SBI・V・全米株式 インデックス・ファンド （愛称：SBI・V・全米株式）

追加型投信／海外／株式／インデックス型

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「SBI・V・全米株式インデックス・ファンド（愛称：SBI・V・全米株式）」は、2026年7月13日に第5期決算を行いました。
ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1－6－1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<https://www.sbiam.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ベンチマーク		投資信託証券 組 入 比 率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率		期 中 騰落率		
(設 定 日) 2021年6月29日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	百万円 8,102
1期(2022年7月11日)	10,887	0	8.9	10,936	9.4	99.6	87,662
2期(2023年7月11日)	12,865	0	18.2	12,970	18.6	99.5	168,436
3期(2024年7月11日)	18,674	0	45.2	18,909	45.8	99.6	291,842
4期(2025年7月11日)	19,196	0	2.8	19,469	3.0	99.5	323,996
5期(2026年7月13日)	25,855	0	34.7	26,318	35.2	99.4	442,459

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。
(注3) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注5) ベンチマークはCRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注6) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
(注7) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		投資信託証券 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2025年7月11日	円 19,196	% —	19,469	% —	% 99.5
7月末	19,798	3.1	20,074	3.1	99.6
8月末	19,958	4.0	20,246	4.0	99.5
9月末	20,712	7.9	21,022	8.0	99.3
10月末	21,887	14.0	22,230	14.2	99.5
11月末	22,268	16.0	22,615	16.2	99.4
12月末	22,575	17.6	22,937	17.8	99.5
2026年1月末	22,411	16.7	22,782	17.0	99.4
2月末	22,603	17.7	22,971	18.0	99.4
3月末	21,297	10.9	21,644	11.2	99.1
4月末	23,986	25.0	24,391	25.3	99.4
5月末	25,289	31.7	25,728	32.1	99.5
6月末	25,513	32.9	25,975	33.4	99.2
(期 末) 2026年7月13日	25,855	34.7	26,318	35.2	99.4

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) ベンチマークはCRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
(注5) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

ベンチマーク：CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
CRSP US トータル・マーケット・インデックスとは、米国株式市場の大型株から小型株までを対象とし、投資可能銘柄のほぼ100%をカバーした時価総額加重平均型の株価指数です。なお、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み）をもとに、委託会社が円換算したものです。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2025年7月12日から2026年7月13日まで）

○基準価額等の推移



期 首：19,196円

期 末：25,855円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 34.7%

（注1）ベンチマークは、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

（注2）ベンチマークは、期首（2025年7月11日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

（注3）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

（注4）ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・人工知能（AI）関連の投資拡大や好調な企業決算を背景としたハイテク株を中心とする米国株高
- ・米連邦準備制度理事会（FRB）による2025年9月以降の利下げ（同年12月までに3会合連続で実施、政策金利は3.50～3.75%まで低下）
- ・良好な企業決算（2026年4～6月期は市場予想を大幅に上回る増収増益）
- ・対円で米ドルが大幅に上昇（円安が進行）したこと

下落要因

- ・米国雇用の伸び鈍化に伴う景気減速懸念（2025年8月の雇用者増加数は市場予想を大幅に下回り、失業率も上昇）
- ・中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇とインフレ再燃への警戒
- ・FRB議長交代（2026年5月、パウエル議長の任期満了に伴い新議長が就任）に伴う金融政策運営を巡る不透明感
- ・AI関連銘柄を中心とした株価バリュエーションの高まりに対する警戒感（2026年6月から7月にかけてハイテク株が調整）

○投資環境

＜米国株式市場＞

2025年7月から8月にかけては、堅調な企業決算やAI関連需要の拡大期待を背景に、S&P500種指数は史上最高値を更新する場面が続きました。9月に入ると8月の雇用統計が市場予想を大幅に下回ったことから米国景気の減速懸念が強まり、株式市場は一時軟調に推移しました。労働市場の軟化を受けてFRBは9月、10月、12月の3会合連続で利下げを実施し、政策金利は3.50～3.75%まで引き下げられましたが、12月の会合では2026年の利下げ想定回数が縮小されたことから「タカ派的利下げ」と受け止められました。もっとも年末にかけては良好な経済指標やハイテク株の一段高を背景に、株式市場は最高値を更新し続けました。

2026年に入ると、FRBは1月、3月の会合で政策金利を据え置きました。5月半ばにはパウエル議長の任期満了に伴い新議長が就任し、金融政策運営を巡る不透明感がやや意識される場面もありました。4－6月期は、AI関連の設備投資拡大を背景にハイテクセクターが相場を牽引し、S&P500種指数は四半期として約6年ぶりの大幅高となりました。6月に入るとハイテク株は反落に転じ、中東情勢の緊迫化を受けた原油価格の上昇からインフレ再燃への警戒感も強まりました。7月に入ってから、AI関連銘柄のバリュエーションに対する警戒感を背景に株式市場は一進一退の展開となり、S&P500種指数は2014年以来11年ぶりに月間ベースで下落する場面もみられましたが、市場予想を大幅に上回る好調な4－6月期決算が下支えとなりました。

＜外国為替市場＞

当期、米ドル円相場は期を通じて、円安水準となりました。2025年7月期初、147円近辺でスタートしましたが、その後も日米の金利差を意識したドル買い・円売りが継続し、緩やかな円安基調で推移しました。同年10月には日本で新たな首相が就任し、積極財政路線への期待から長期金利が上昇する一方、日銀の利上げペースが緩やかになるとの見方も強まり、円売り材料となりました。12月の日銀会合では政策金利が0.75%（当時として30年ぶりの水準）まで引き上げられましたが、円安基調に大きな変化はみられませんでした。

2026年に入ると、中東情勢の緊迫化を背景に原油価格が上昇し、資源に乏しい日本経済への影響が意識されたことに加え、根強い日米金利差を背景に、円は一段と下落基調を強めました。4月から5月にかけては、ドル円が節目とされる160円に接近・突破する場面もあり、日本の通貨当局は大規模な為替介入を実施しましたが、円安圧力の払拭には至りませんでした。6月には米国の新FRB議長によるタカ派的な発言も意識される中、ドル円は再び160円台に到達し、7月に入ってから円安基調が継続しました。期末（2026年7月13日）にかけては、ドル円は160円台で推移し、約40年ぶりの円安水準となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

＜当ファンド＞

ベンチマークである「CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象である S B I ・ V ・ 全米株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

＜S B I ・ V ・ 全米株式インデックス・マザーファンド＞

ベンチマークである「CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、バンガードが運用を行う「バンガード・トータル・ストック・マーケットETF」を主要投資対象として運用を行いました。

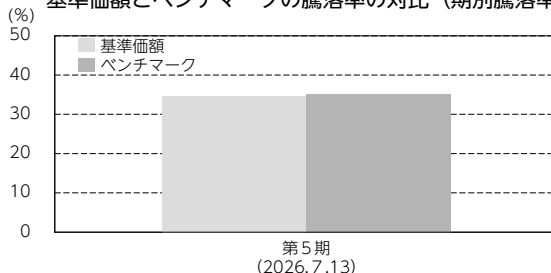
なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.4%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における分配金も考慮した基準価額は+34.7%となり、ベンチマークである「CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）」の騰落率である+35.2%を概ね0.5%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離）、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などがあげられます。

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



（注）ベンチマークはCRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。詳細はP1をご参照ください。

○分配金

当期の収益分配は、運用の効率性を勘案し見送ることといたしました。
なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 5 期
	2025年 7 月12日～ 2026年 7 月13日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	15,854

(注 1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注 2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、ベンチマークである「CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象である S B I ・ V ・ 全米株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行う方針です。また、現金比率を極力抑え連動率を高めていく所存です。

< S B I ・ V ・ 全米株式インデックス・マザーファンド >

引き続き、「バンガード・トータル・ストック・マーケットETF」を主要投資対象とし、ベンチマークである「CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 7 月12日～2026年 7 月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	14 (5) (5) (3)	0.064 (0.024) (0.024) (0.015)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷)	3 (3) (0) (0)	0.015 (0.015) (0.000) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	17	0.079	
期中の平均基準価額は、22,358円です。			

(注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注 2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注 3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

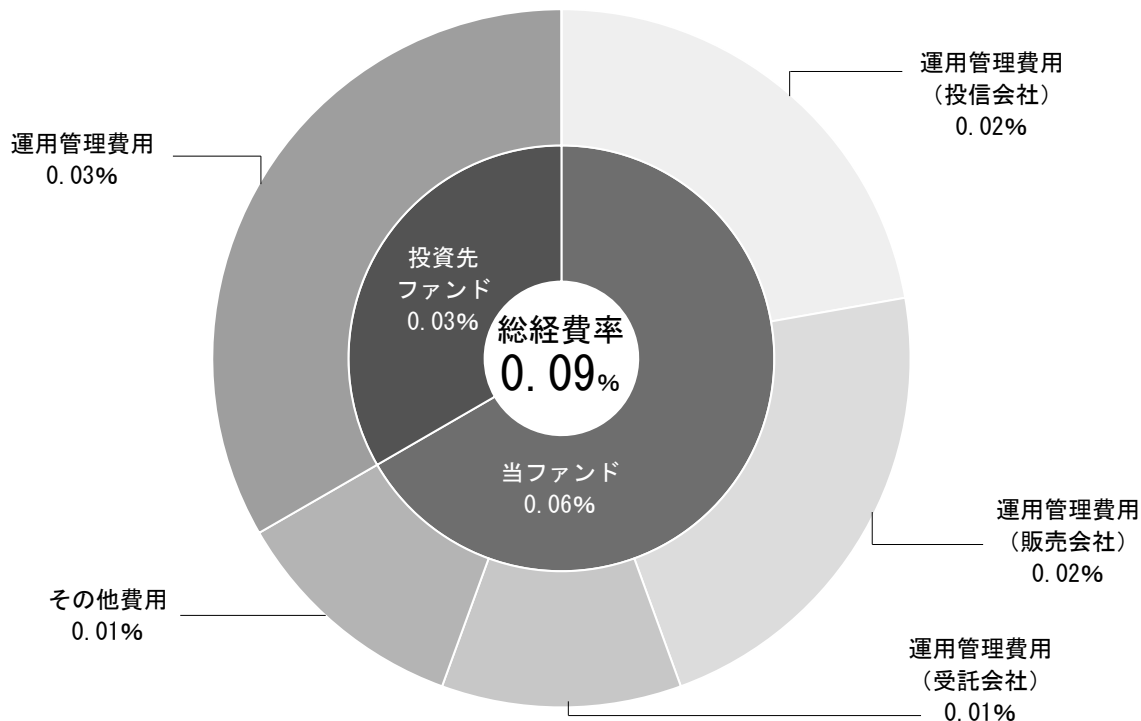
(注 4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注 5) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.09%**です。



総経費率（①+②）	0.09%
①当ファンドの費用の比率	0.06%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年7月12日～2026年7月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド	19,429,786	43,324,830	17,188,849	38,015,770

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年7月12日～2026年7月13日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年7月13日現在)

親投資信託残高

銘 柄 名	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド	168,227,417	170,468,354	442,586,987

(注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2026年 7月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
S B I ・ V ・ 全米株式インデックス・マザーファンド	442, 586, 987	99. 9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	241, 431	0. 1
投 資 信 託 財 産 総 額	442, 828, 418	100. 0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) S B I ・ V ・ 全米株式インデックス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（496, 935, 889千円）の投資信託財産総額（500, 366, 597千円）に対する比率は99. 3%です。
(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、7月13日における円換算レートは、1ドル=162. 13円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年 7月13日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	442, 828, 418, 563円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10, 879
S B I ・ V ・ 全米株式インデックス・マザーファンド（評価額）	442, 586, 987, 684
未 収 入 金	241, 420, 000
(B)負 債	368, 891, 569
未 払 解 約 金	241, 409, 920
未 払 信 託 報 酬	126, 725, 663
そ の 他 未 払 費 用	755, 986
(C)純 資 産 総 額 (A－B)	442, 459, 526, 994
元 本	171, 131, 920, 842
次 期 繰 越 損 益 金	271, 327, 606, 152
(D)受 益 権 総 口 数	171, 131, 920, 842口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C／D)	25, 855円

< 注記事項（運用報告書作成時には監査未了） >
(貸借対照表関係)
期首元本額 168, 782, 629, 516円
期中追加設定元本額 19, 603, 962, 498円
期中一部解約元本額 17, 254, 671, 172円

○損益の状況 (2025年 7月12日～2026年 7月13日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	8円
受 取 利 息	8
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	108, 471, 131, 127
売 買 益	113, 246, 879, 753
売 買 損	△ 4, 775, 748, 626
(C)信 託 報 酬 等	△ 244, 226, 147
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	108, 226, 904, 988
(E)前 期 繰 越 損 益 金	91, 240, 261, 655
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	71, 860, 439, 509
(配 当 等 相 当 額)	(43, 480, 134, 542)
(売 買 損 益 相 当 額)	(28, 380, 304, 967)
計 (D + E + F)	271, 327, 606, 152
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	271, 327, 606, 152
追 加 信 託 差 損 益 金	71, 860, 439, 509
(配 当 等 相 当 額)	(43, 509, 147, 744)
(売 買 損 益 相 当 額)	(28, 351, 291, 765)
分 配 準 備 積 立 金	199, 467, 166, 643

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) 損益の状況の中で、(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（3, 958, 828, 071円）、費用控除後の有価証券等損益額（104, 268, 076, 917円）、信託約款に規定する収益調整金（71, 860, 439, 509円）および分配準備積立金（91, 240, 261, 655円）より分配対象収益は271, 327, 606, 152円（10, 000口当たり15, 854円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○お知らせ

2026年7月27日付けで、ベンチマークと組入ETFの名称が以下の通り変更となります。

- ・ベンチマークの名称：Morningstar US トータル・マーケット TR USD（配当込み、円換算ベース）
- ・組入ETFの名称：バンガード・モーニングスター・トータル・ストック・マーケット ETF

第 5 期 運用報告書

(決算日 2026年 7 月13日)

SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンド

受益者のみなさまへ

SBI・V・全米株式インデックス・マザーファンドの第5期（2025年7月12日から2026年7月13日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運 用 方 針	米国株式市場の動きを捉えることをめざすCRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行います。
主 要 投 資 対 象	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 デリバティブの直接利用は行いません。 外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		ベンチマーク		投資信託証券 組 入 比 率	純資産 総 額
		期 中 騰落率		期 中 騰落率		
(設 定 日) 2021年 6 月 29 日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	百万円 8,102
1 期(2022年 7 月 11 日)	10,903	9.0	10,936	9.4	99.5	93,558
2 期(2023年 7 月 11 日)	12,896	18.3	12,970	18.6	99.4	172,667
3 期(2024年 7 月 11 日)	18,730	45.2	18,909	45.8	99.5	316,766
4 期(2025年 7 月 11 日)	19,265	2.9	19,469	3.0	99.5	359,886
5 期(2026年 7 月 13 日)	25,963	34.8	26,318	35.2	99.4	499,942

(注 1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注 2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。
(注 3) ベンチマークはCRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注 4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		投資信託証券 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2025年 7 月 11 日	円 19,265	% —	19,469	% —	% 99.5
7 月末	19,870	3.1	20,074	3.1	99.6
8 月末	20,031	4.0	20,246	4.0	99.5
9 月末	20,789	7.9	21,022	8.0	99.3
10月末	21,970	14.0	22,230	14.2	99.5
11月末	22,353	16.0	22,615	16.2	99.3
12月末	22,662	17.6	22,937	17.8	99.5
2026年 1 月末	22,499	16.8	22,782	17.0	99.4
2 月末	22,693	17.8	22,971	18.0	99.4
3 月末	21,383	11.0	21,644	11.2	99.1
4 月末	24,084	25.0	24,391	25.3	99.4
5 月末	25,393	31.8	25,728	32.1	99.5
6 月末	25,619	33.0	25,975	33.4	99.2
(期 末) 2026年 7 月 13 日	25,963	34.8	26,318	35.2	99.4

(注 1) 騰落率は期首比です。
(注 2) ベンチマークはCRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注 3) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

ベンチマーク：CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
CRSP US トータル・マーケット・インデックスとは、米国株式市場の大型株から小型株までを対象とし、投資可能銘柄のほぼ100%をカバーした時価総額加重平均型の株価指数です。なお、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、CRSP US トータル・マーケット・インデックス（配当込み）をもとに、委託会社が円換算したものです。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2025年7月12日から2026年7月13日まで）

○基準価額等の推移



当マザーファンドの基準価額は期首19,265円から始まったあと、期末には25,963円となりました。期を通じて騰落率は+34.8%となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2025/7/11	2026/7/13	2025/7/14	2026/7/13
基準価額（円）	19,265	25,963	19,231	25,963

○投資環境

<米国株式市場>

2025年7月から8月にかけては、堅調な企業決算やAI関連需要の拡大期待を背景に、S&P500種指数は史上最高値を更新する場面が続きました。9月に入ると8月の雇用統計が市場予想を大幅に下回ったことから米国景気の減速懸念が強まり、株式市場は一時軟調に推移しました。労働市場の軟化を受けてFRBは9月、10月、12月の3会合連続で利下げを実施し、政策金利は3.50～3.75%まで引き下げられましたが、12月の会合では2026年の利下げ想定回数が縮小されたことから「タカ派的利下げ」と受け止められました。もっとも年末にかけては良好な経済指標やハイテク株の一段高を背景に、株式市場は最高値を更新し続けました。

2026年に入ると、FRBは1月、3月の会合で政策金利を据え置きました。5月半ばにはパウエル議長の任期満了に伴い新議長が就任し、金融政策運営を巡る不透明感がやや意識される場面もありました。4－6月期は、AI関連の設備投資拡大を背景にハイテクセクターが相場を牽引し、S&P500種指数は四半期として約6年ぶりの大幅高となりました。6月に入るとハイテク株は反落に転じ、中東情勢の緊迫化を受けた原油価格の上昇からインフレ再燃への警戒感も強まりました。7月に入ってから、AI関連銘柄のバリュエーションに対する警戒感を背景に株式市場は一進一退の展開となり、S&P500種指数は2014年以来11年ぶりに月間ベースで下落する場面もみられましたが、市場予想を大幅に上回る好調な4－6月期決算が下支えとなりました。

<外国為替市場>

当期、米ドル円相場は期を通じて、円安水準となりました。2025年7月期初、147円近辺でスタートしましたが、その後も日米の金利差を意識したドル買い・円売りが継続し、緩やかな円安基調で推移しました。同年10月には日本で新たな首相が就任し、積極財政路線への期待から長期金利が上昇する一方、日銀の利上げペースが緩やかになるとの見方も強まり、円売り材料となりました。12月の日銀会合では政策金利が0.75%（当時として30年ぶりの水準）まで引き上げられましたが、円安基調に大きな変化はみられませんでした。

2026年に入ると、中東情勢の緊迫化を背景に原油価格が上昇し、資源に乏しい日本経済への影響が意識されたことに加え、根強い日米金利差を背景に、円は一段と下落基調を強めました。4月から5月にかけては、ドル円が節目とされる160円に接近・突破する場面もあり、日本の通貨当局は大規模な為替介入を実施しましたが、円安圧力の払拭には至りませんでした。6月には米国の新FRB議長によるタカ派的な発言も意識される中、ドル円は再び160円台に到達し、7月に入ってから円安基調が継続しました。期末（2026年7月13日）にかけては、ドル円は160円台で推移し、約40年ぶりの円安水準となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

ベンチマークである「CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、バンガードが運用を行う「バンガード・トータル・ストック・マーケットETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.4%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は+34.8%となり、ベンチマークである「CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）」の騰落率である+35.2%を概ね0.4%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離）、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などがあげられます。

○今後の運用方針

引き続き、「バンガード・トータル・ストック・マーケット ETF」を主要投資対象とし、ベンチマークである「CRSP USトータル・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2025年7月12日～2026年7月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 売買委託手数料	—	—	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税	—	—	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	3 (3)	0.015 (0.015)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	3	0.015	
期中の平均基準価額は、22,445円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2025年7月12日～2026年7月13日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	口	千ドル	口	千ドル
	VANGUARD TOTAL STOCK MARKET ETF	1,151,024	376,459	844,049	301,077
	小 計	1,151,024	376,459	844,049	301,077

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年 7 月12日～2026年 7 月13日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年 7 月13日現在)

外国投資信託証券						
銘 柄 名		期首(前期末)	当 期 末			
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	口	千ドル	千円	%
VANGUARD TOTAL STOCK MARKET ETF		7, 917, 136	8, 224, 111	3, 065, 043	496, 935, 572	99. 4
合 計	口 数 ・ 金 額	7, 917, 136	8, 224, 111	3, 065, 043	496, 935, 572	99. 4
	銘柄数<比率>	1	1	－	<99. 4%>	

(注 1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。
(注 2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。
(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年 7 月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 496, 935, 572	% 99. 3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3, 431, 025	0. 7
投 資 信 託 財 産 総 額	500, 366, 597	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 当期末における外貨建て純資産（496, 935, 889千円）の投資信託財産総額（500, 366, 597千円）に対する比率は99. 3%です。
(注 3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、7 月13日における円換算レートは、1 ドル＝162. 13円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年7月13日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	500,366,597,940円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,430,945,907
投資信託受益証券(評価額)	496,935,572,142
未 収 利 息	79,891
(B) 負 債	424,030,000
未 払 解 約 金	424,030,000
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	499,942,567,940
元 本	192,559,852,237
次 期 繰 越 損 益 金	307,382,715,703
(D) 受 益 権 総 口 数	192,559,852,237口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	25,963円

< 注記事項 (運用報告書作成時には監査未了) >
(貸借対照表関係)

期首元本額	186,813,161,855円
期中追加設定元本額	52,332,682,640円
期中一部解約元本額	46,585,992,258円
期末における元本の内訳	
S B I ・ V ・ 全 米 株 式 イ ン デ ッ ク ス ・ フ ァ ン ド	170,468,354,075円
(ラップ専用) S B I ・ 米 国 株 式	22,091,498,162円

○損益の状況 (2025年7月12日～2026年7月13日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4,863,360,017円
受 取 配 当 金	4,842,505,066
受 取 利 息	20,854,951
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	129,326,748,888
売 買 益	129,326,748,888
(C) そ の 他 費 用	△ 66,935,077
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	134,123,173,828
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	173,073,662,257
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	61,627,617,360
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 61,441,737,742
(H) 計 (D + E + F + G)	307,382,715,703
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	307,382,715,703

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈ご参考〉組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・トータル・ ストック・マーケット ETF	米国株式	CRSP US トータル・マーケット・ インデックス	0.03%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位10銘柄	比率
NVIDIA Corp.	6.4%
Apple Inc.	5.9%
Alphabet Inc.	5.2%
Microsoft Corp.	3.8%
Amazon.com Inc.	3.2%
Broadcom Inc.	2.5%
Micron Technology Inc.	1.8%
Meta Platforms Inc.	1.7%
Tesla Inc.	1.6%
Eli Lilly & Co.	1.4%

組入上位業種	比率
テクノロジー	41.0%
資本財・サービス	12.5%
一般消費財・サービス	12.3%
金融	10.0%
ヘルスケア	9.1%
生活必需品	3.4%
エネルギー	3.2%
公益事業	2.5%
不動産	2.3%
電気通信サービス	2.1%

出所：The Vanguard Group, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2026年6月30日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第5期期末時点で取得可能なデータを記載しており、将来変更される場合があります。